



自活だより



令和3年度 鹿児島聾学校
自立活動係 2月号

令和4年がスタートし、11日には3学期も始まりました。さて、3学期は、鹿児島聾学校の創立記念日があります。次のクイズをやってみましょう。

第1問 鹿児島聾学校の創立記念日は、いつですか？

第2問 来年度は何回目の創立記念日ですか？

(ヒントは [ここ](#) ↓)

鹿児島聾学校のあゆみ

明治36年(西暦1903年)2月2日、山之口町に私立鹿児島慈恵盲啞学校が創立されました。初代学校長は、南雲総次郎先生でした。

大正8年7月に、私立鹿児島盲啞学校と改称されました。そのときの、校長は、川畑宗次郎先生でした。川畑先生の胸像が校庭にあります。

昭和23年4月1日、盲学校と分かれて、現在の鹿児島県立鹿児島聾学校となりました。

平成27年4月(創立113周年)に、草牟田校舎から、今の下伊敷校舎に移りました。現在、みなさんが元気に学習や運動に励んでいる場所ですね。

来年の令和5年(西暦2023年)は、創立の年からちょうど120年目になります。ですから、令和4年度は創立120周年をお祝いする運動会や文化祭を開催します。



南雲 総次郎



川畑 宗次郎

補聴器や人工内耳の電池について知ろう！

みなさんが使っている電池はボタンの形をしていますね。ボタン式の電池はいろいろありますが、補聴器や人工内耳の電池は「空気電池」という種類です。他の電池とは違った特徴があります。みなさんは、知っていましたか？

Q なぜ空気電池と言うの？

A 空気の中にある「酸素」と反応して電気を作るので、「空気電池」と言います。シールをはがして1分ほどすると電気が作られます。

Q 空気電池を長く使う方法は？

A 補聴器や人工内耳を使わないときに、電池のプラスの面にシールをまた貼っておけば空気に触れる面が少なくなるので、シールを貼らないときより長く使えるそうです。

寒いときは、体温などで温めてから使うと反応が早くなるよ。
また、汗でぬれたときは、電池もふいてね。サビを防げるよ。

